



平成29年7月28日

ファジアーノ岡山ホーム戦 公共交通や自転車、徒歩等の 利用を促すプロジェクトを8月からスタート

岡山大学、国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所、株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブの産官学が中心となり進めている「人・地域・地球にやさしいアクセスのためのファジアーノプロジェクト（ファジウォーカープロジェクト）」では、今年8月より、試合観戦者の県総合グラウンドへのアクセスを、自家用車から公共交通、自転車、徒歩等に転換してもらうための施策を展開するとともに、その効果を学術的に検証します。県総合グラウンド周辺の渋滞緩和や駐車場問題の解消に加えて、地元経済の活性化や健康増進、環境負荷の低減等、スポーツ観戦に新たな価値を付与することを目指しています。

<概要>

岡山県総合グラウンド周辺の国道53号は慢性的な交通渋滞に悩まされています。また、Jリーグ・ファジアーノ岡山戦が開催されると1万人近いサポーターが集まり、賑わいが創出される一方で、さらなる渋滞等の交通問題を引き起こす要因の1つにもなっています。

それら問題の解決のために、岡山大学、国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所、株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブからなる、「人・地域・地球にやさしいアクセスのためのファジアーノプロジェクト実行委員会（ファジウォーカープロジェクト）」（委員長：岡山大学環境生命科学研究科氏原岳人准教授）を2016年7月にたちあげ、これまで検討してきました。本学からは氏原岳人研究室（環境生命科学研究科）、高岡敦史研究室（教育学研究科）が参画しています。

ファジウォーカープロジェクトでは、今年8～9月に県総合グラウンドまでのアクセスを自家用車から公共交通・自転車・徒歩等に自発的に転換してもらうため、11の施策「Project11」を実施します。Project11の主な施策としては、「行動プラン法によるワンショット TFP」、「やさしいアクセスのためのプロモーション動画」、「ファジアーノ岡山特製バスマップ」、「国道情報板を用いたやさしいアクセス啓発」等があります。全体像や施策の詳細は記者発表時に説明します。

自家用車から公共交通、自転車、徒歩等に自発的に転換させる取り組みを「モビリティ・マネジメント」と呼び、交通需要マネジメントのソフト施策として注目されています。

<期待される成果>

ファジウォーカープロジェクトでは、岡山県総合グラウンド周辺の渋滞緩和や駐車場問題の解消に加えて、地元消費の増加や健康増進、環境負荷の低減等、スポーツ観戦に新たな価値を付与することを目指しています。昨年10月には、試合開催時の交通状況等の事前調査を実施しており、施策実施後の今年10月の事後調査を経て、プロジェクトの効果を学術的に検証し、来年度に向けた改善策を検討する予定です。



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

PRESS RELEASE

<その他>

本取り組みは、岡山大学と国土交通省中国地方整備局との包括的連携・協力に関する協定書に基づき実施されています。

<お問い合わせ>

岡山大学大学院環境生命科学研究科

准教授 氏原 岳人

(電話番号) 086-251-8850

(FAX番号) 086-251-8850